

令和6年9月

第3回定例会

# 議 案 説 明 資 料

(補正予算関係資料)

2-1-4	元北小学校解体事業（総務課）	P 1
国保特別会計	国民健康保険資格確認書交付事業（税務住民課）	P 2
訪看特別会計	オンライン請求システム導入事業（高齢者福祉課）	P 3
3-2-4	児童手当システム改修事業（健康福祉課）	P 4
3-3-1	災害弔慰金等支給審査委員会事業（健康福祉課）	P 5
4-1-2	新型コロナワクチン接種助成事業（健康福祉課課）	P 6
4-1-6	川根本町斎場造成事業（くらし環境課）	P 7
6-1-8	茶茗館運営静岡誘客キャンペーン「Meets SHIZUOKA」 グッズ販売事業（産業振興課）	P 8
6-2-5	文沢（三ヶ倉）治山事業（建設課）	P 9
7-1-8	音戯の郷運営静岡誘客キャンペーン「Meets SHIZUOKA」 グッズ販売事業（観光交流課）	P 10
8-1-1	元青部小学校周辺土地整備事業（建設課）	P 11
9-1-1	島田消防署川根北出張所変電施設改修事業 （危機管理課）	P 12
9-1-3	耐震性貯水槽設置事業（危機管理課）	P 13
9-1-4	感震ブレーカー等設置推進事業（危機管理課）	P 14
11-2-1	町道長松線2号箇所道路災害復旧工事における 電柱移設事業（建設課）	P 15

事業名	元北小学校解体事業	予算額	現計	99,550 千円	担当課	総務課
			補正額	46,460 千円		
			補正後	146,010 千円		
			特財	138,700 千円		

1 補正理由

元北小学校解体工事に関する実施設計において、プール解体処分費用、アスベスト含有箇所、外構工事費が増加となったことから増額分を補正する。

2 事業概要

(単位:千円)

区 分	内 容	予算額
元北小学校解体工事	①プール解体費用の増 基礎コンクリート処分	8,969
	②校舎解体費用の増 アスベスト含有量の増	5,302
	③外構解体工事の増 フェンス設置、残置物処分(石等)、移設費	8,099
	④共通費の増 ①～③による直接工事費の増額	19,861
	⑤工事価格増額による消費税等	4,229
※合併特例債を財源とする (138,700千円のうち今回補正額44,100千円)		
		46,460



【アスベスト含入箇所増】

【プール】



【残置物】



事業名	国民健康保険資格確認書交付事業 【国民健康保険事業特別会計】	予算額	現計	0 千円	担当課	税務住民課
			補正額	363 千円		
			補正後	363 千円		
			特財	0 千円		

### 1 補正理由

マイナンバーカードと健康保険証の一体化により、令和6年12月2日以降は現行の健康保険証が発行されなくなる。

このため、マイナンバーカードを取得していない方又はマイナンバーカードと健康保険証の紐づけを行っていない方に対しては、「国民健康保険資格確認書」の交付が必要となることから、所要額を補正する。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区分	内 容	予算額
印刷製本費	資格確認書作成費 @700円×400枚	280
	資格確認書発送用封筒作成費 @125円×400枚	50
	消費税	33
		363

### 3 スケジュール

内 容	9月	10月	11月	12月～
業者との調整	←	→		
資格確認書及び封筒の印刷			←	→
資格確認書の交付				←

### 4 資格確認書イメージ

静岡県国民健康保険 有効期限 令和 年 月 日

資格確認書 記号番号 (枝番) 01

氏 名 性 別 男

生年月日

適用開始年月日

交付年月日

世帯主氏名

住 所 静岡県榛原郡川根本町田野口 番地

保険者番号 220525 交付者名川根本町

事業名	オンライン請求システム導入事業 【訪問看護事業特別会計】	予算額	現計	0 千円	担当課	高齢者福祉課
			補正額	641 千円		
			補正後	641 千円		
			特財	429 千円		

### 1 補正理由

現行の保険証がマイナンバーカードに一本化され、訪問看護(医療保険)における資格確認及び請求のオンライン化が義務化される。

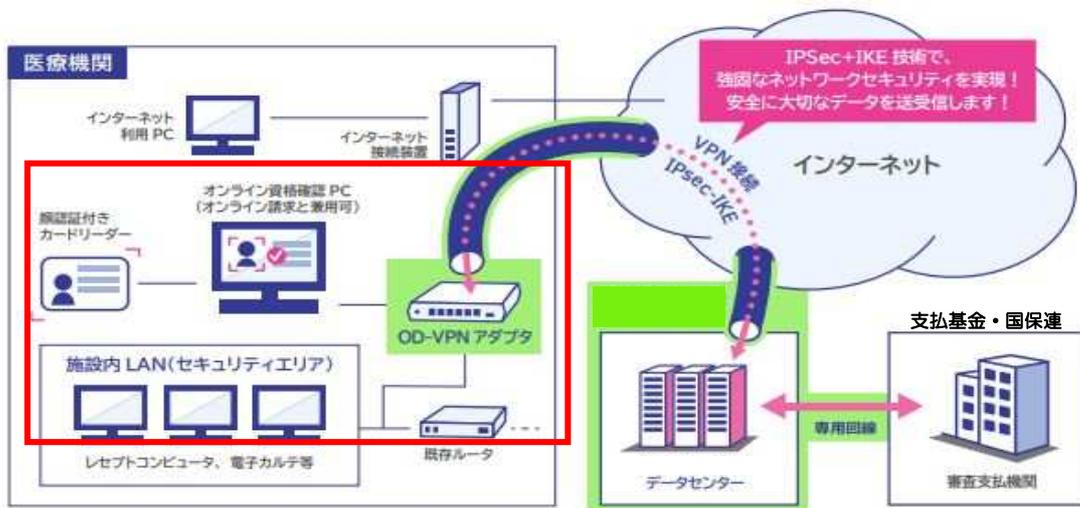
これに伴い必要となるシステムを導入するため補正する。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	予算額
オンライン請求システム導入事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン資格確認・請求システム導入費用 (支払基金・国保接続ネットワーク設定、専用端末設定ほか) <math>390,000 \times 1 \text{式} \times 1.1 = 429,000 \text{円}</math> 【国庫】医療提供体制設備整備交付金 (上限429千円、令和6年11月30日までの導入が要件)</li> </ul>	429
	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAN配線設置費 <math>151,500 \times 1 \text{式} \times 1.1 = 166,650 \text{円}</math></li> </ul>	167
	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用回線使用料 <math>1,900 \times 6 \text{月} \times 1.1 = 12,540 \text{円}</math></li> </ul>	13
	<ul style="list-style-type: none"> <li>やませみネット使用料(100M定額プラン) <math>4,800 \times 6 \text{月} \times 1.1 = 31,680 \text{円}</math></li> </ul>	32
		641

### 3 事業イメージ



OD-VPN インターネット上に仮想的な専用線を構築するもの

事業名	児童手当システム改修事業	予算額	現計	0 千円	担当課	健康福祉課
			補正額	2,530 千円		
			補正後	2,530 千円		
			特財	2,530 千円		

1 補正理由

児童手当制度の改正(R6.6)に伴い、システム改修が必要となるため所要額を補正する。

2 事業概要

■ 児童手当制度改正内容について

	改正前	改正後
支給対象	中学校卒業までの児童を養育している方	高校生年代(18歳に達する年度末まで)の児童を養育している方 (追加対象児童数:約80人)
所得制限	あり(所得制限限度額以上は特例給付、所得上限額以上は非該当)	なし (所得制限非該当対象児童数: 1人)
手当月額	3歳未満:15,000円  3歳から小学校終了まで (第1子、2子):10,000円 (第3子以降):15,000円  中学生:10,000円  特例給付:一律5,000円	3歳未満 (第1子・2子):15,000円 (対象児童数:約30人) (第3子以降):30,000円 (対象児童数:約10人)  3歳から高校生年代まで (第1子、2子):10,000円 (対象児童数:約290人) (第3子以降):30,000円 (対象児童数:約50人)  (旧特例給付対象児童数: 0人)
支払回数	年3回(10月、2月、6月) ※4か月ごと	年6回(偶数月) ※2か月ごと
多子加算の カウント対象	高校生年代(18歳に達する年度末)まで	大学生年代(22歳に達する年度末)まで

■ 必要経費

区分	内容	予算額
業務委託	○ 制度改正に対応したシステム改修の実施	2,530

■ 財源

令和6年度子ども・子育て支援事業補助金(国庫) (児童手当制度改正実施円滑化事業 補助率10/10)	2,530
---	-------

■ 事業スケジュール

	令和6年度				
	9月	10月	11月	12月	1月
契約、システム改修、新規対象者登録、 児童手当算出 など	—————				
児童手当支給(改正後1回目:12月上旬)				—	

事業名	災害弔慰金等支給審査委員会事業	予算額	現計	0 千円	担当課	健康福祉課
			補正額	30 千円		
			補正後	30 千円		
			特財	0 千円		

1 補正理由

「町災害弔慰金の支給に関する条例」の一部改正により、「災害弔慰金支給審査委員会」を設置するため、所要額を補正する。

2 事業概要

(1) 審査委員会委員

委員は5人以内で、下記に掲げる者のうちから町長が委嘱又は任命する。

- ① 医師
- ② 弁護士
- ③ 町の職員
- ④ 学識経験者など町長が適当と認めた者

(2) 必要経費（委員報酬）

(単位：千円)

報酬が必要な委員職種	単価	対象数	回数	予算額	備考
① 医師	10.0	1人	1日	10	
② 弁護士	10.0	1人	1日	10	
③ 町長が適当と認めた者 (学識経験者等)	10.0	1人	1日	10	
合 計				30	

※ 報酬単価は、「川根本町特別職の職員で非常勤のもの」の報酬及び費用弁償に関する条例」別表中、「その他の非常勤職員」単価を適用

事業名	新型コロナワクチン接種助成事業	予算額	現計	0 千円	担当課	健康福祉課
			補正額	23,722 千円		
			補正後	23,722 千円		
			特財	17,098 千円		

### 1 補正理由

新型コロナワクチンの全額公費による接種(集団接種)が、令和6年3月31日で終了した。令和6年秋冬から自治体による定期接種(医療機関での個別接種)に移行される。このため、新型コロナウイルス感染・重症化予防のためのワクチン接種助成事業を実施する経費を補正する。

### 2 事業概要

#### (1) 対象者(定期接種)

- ・65歳以上の方
- ・60歳から64歳で、基礎疾患等から日常生活がほとんど不可能な方

#### (2) 必要経費

(単位：千円)

項目	単価	対象数	予算額	備考
① 接種委託料(医療機関へ)	11.5	1,900人	21,850	・国庫助成金(8.3千円) <b>[C]</b> + ・手技料(3.2千円) <b>[B]</b>
	14.7	10人	147	・生活保護受給者(全額町負担)
② 接種扶助費(接種者へ)	11.5	150人	1,725	・償還払い
合 計			23,722	

#### (3) 財源

##### 新型コロナ定期接種ワクチン確保事業国庫助成金活用

(単位：千円)

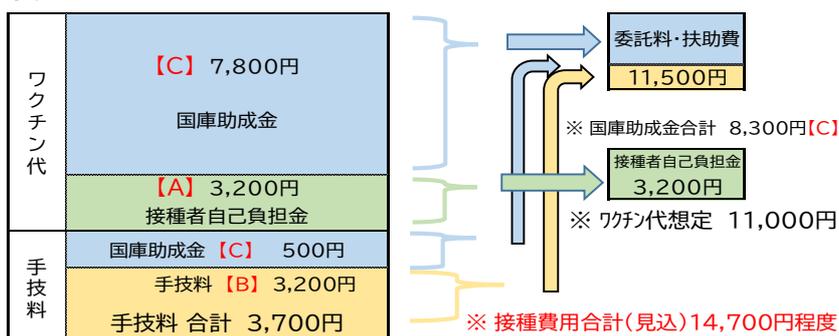
項目	単価	対象数	予算額	備考
① 国庫助成金(定額助成)	8.3	2,060人	17,098	・1人 8,300円助成 <b>[C]</b>
②				・定期接種経費に対し、3割程度を地方交付税措置(町負担額に対し財政措置) (定期接種 B類疾病(一般行政経費))
合 計			17,098	

#### (4) 接種者自己負担金(参考)

(単位：千円)

項目	単価	対象数	負担金計	備考
① 接種者自己負担金	3.2	2,050人	6,560	・接種者が直接医療機関に支払い <b>[A]</b>

### 3 経費のイメージ



事業名	川根本町斎場造成事業	予算額	現計	0千円	担当課	くらし環境課
			補正額	16,100千円		
			補正後	16,100千円		
			特財	15,200千円		

### 1 補正理由

新斎場建設のための造成設計が完了したため、設計に基づき敷地造成工事のための費用を補正する。

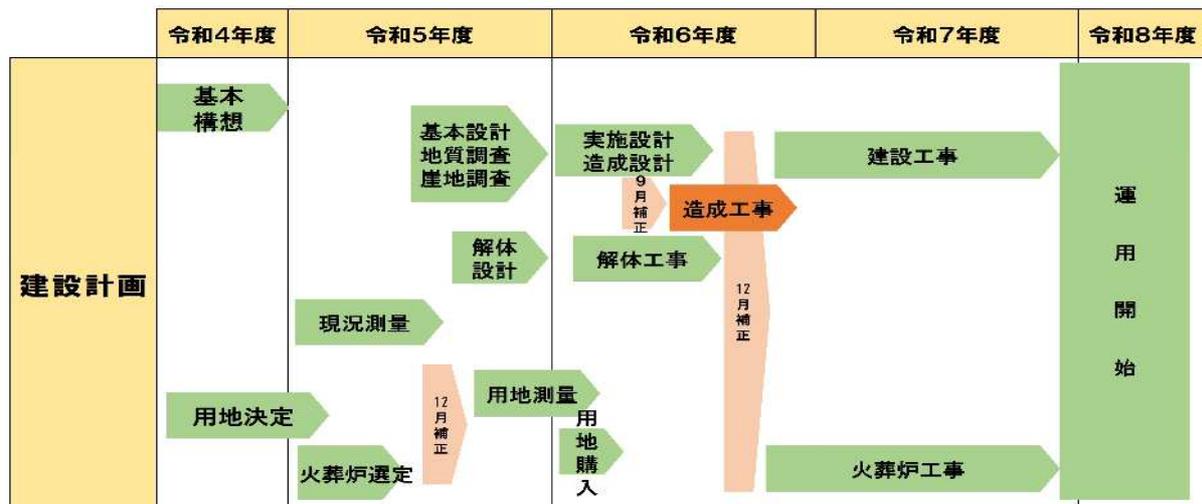
### 2 事業概要

(単位:千円)

区分	内 容	予算額
造成工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶畑整地工事 950m<sup>2</sup> 伐根・運搬・処分・構造物取壊し</li> <li>・掘削工 770m<sup>3</sup> 機械掘削・土砂運搬・残土処理</li> <li>・立木、小径木伐採 針葉樹(杉、檜)、タラ、ユズ等の伐採、玉切り、運搬、処分</li> </ul>	16,100

### 3 スケジュール

## 川根本町新斎場建設スキーム



### 4 施工地写真



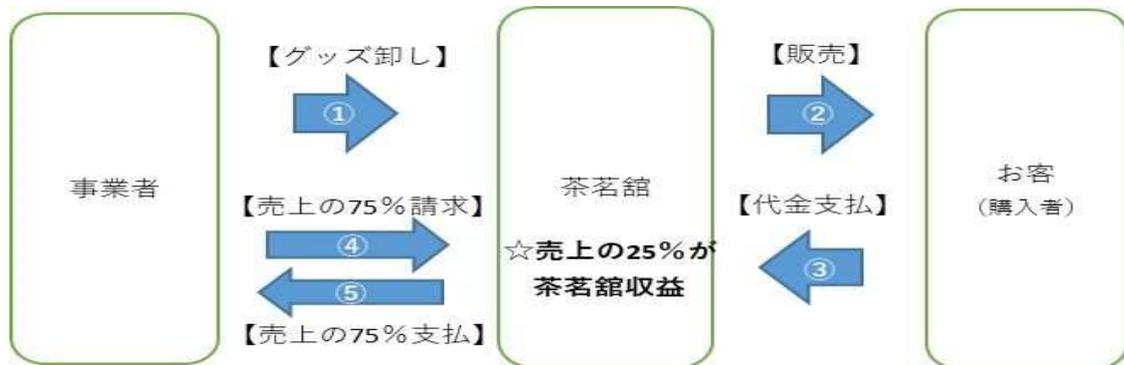
事業名	茶茗館運営 静岡誘致キャンペーン 「Meets SHIZUOKA」 グッズ販売事業	予算額	現計	0 千円	担当課	産業振興課
			補正額	1,286 千円		
			補正後	1,286 千円		
			特財	1,286 千円		

### 1 補正理由

静岡誘致キャンペーン事業について、当初の見込み以上の販売実績があるため、グッズ購入費用を補正する。

### 2 事業概要

県内18か所の施設をスタンプラリーで巡る企画。スタンプを集めるとノベルティがもらえるほか、各施設ではスタンプイラストを使用したご当地グッズを販売している。(入館者:対前年比 112%)



(単位:千円)

区分	内容	予算額
グッズ購入	◎販売想定額 1,715千円×75%≒1,286千円  販売実績(～7/20) 1,074千円 販売見込(～9月末) 641千円 計 1,715千円	需用費 「販売物仕入代」 1,286
		1,286

### 3 販売グッズ



スタンプ台紙



缶バッジ

事業名	文沢(三ヶ倉)治山事業	予算額	現計	14,000 千円	担当課	建設課
			補正額	4,150 千円		
			補正後	18,150 千円		
			特財	13,933 千円		

### 1 補正理由

現場確認において、当初計画した作業道の地盤が脆弱であることが判明した。作業の安全性及び工事の効率的な進捗を確保するため、新たな作業道の開設費用を補正する。

### 2 事業概要

(単位：千円)

区分	内容	予算額
工事請負費	工事用道路の追加 1式	4,000
補償費	杉 19本	150
合計		4,150

### 3 スケジュール

	令和6年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
本体工事			■										
作業道施工・伐採						■							

### 4 現場の状況等



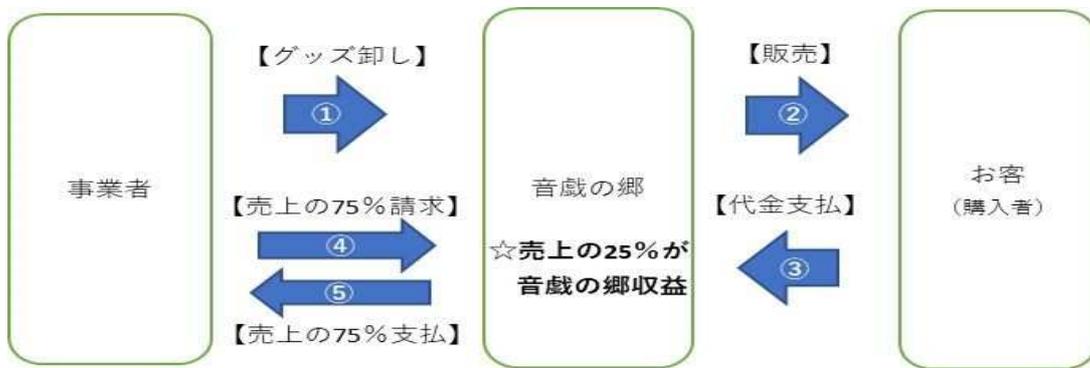
事業名	音戯の郷運営 静岡誘致キャンペーン 「Meets SHIZUOKA」 グッズ販売事業	予算額	現計	0 千円	担当課	観光交流課
			補正額	1,720 千円		
			補正後	1,720 千円		
			特財	1,720 千円		

### 1 補正理由

静岡誘致キャンペーン事業について、当初の見込み以上の販売実績があるため、グッズ購入費用を補正する。

### 2 事業概要

県内18か所の施設をスタンプラリーで巡る企画。スタンプを集めるとノベルティがもらえるほか、各施設ではスタンプイラストを使用したご当地グッズを販売している。(入館者:対前年比 140%)



(単位:千円)

区分	内容	予算額
グッズ購入	◎販売想定額 2,290千円×75%≒1,720千円  販売実績(～7/20) 1,405千円 販売見込(～9月末) 885千円 計 2,290千円	需用費 「販売物仕入代」 1,720
		1,720

### 3 販売グッズ



音戯の郷オリジナル  
スタンプ



オリジナルグッズ  
販売商品一覧



事業名	元青部小学校周辺土地整備事業	予算額	現計	0 千円	担当課	建設課
			補正額	68,900 千円		
			補正後	68,900 千円		
			特財	0 千円		

### 1 補正理由

元青部小学校跡地における国道との取付部分の協議が整ったため、関連経費を補正する。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区分	内 容	予算額
委託費	用地調査業務委託 △ 5,500	68,900
工事請負費	造成工事費 65,000	
	NTT線仮設に係るフレックス管設置工事 900	
補填費	電柱移転 8,500	

### 3 スケジュール

項目	令和6年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管設置		■					
電柱移転		■					
造成工事		■					

### 4 現場の状況



事業名	島田消防署 川根北出張所 変電施設改修事業	予算額	現計	2,068 千円	担当課	危機管理課
			補正額	264 千円		
			補正後	2,332 千円		
			特財	0 千円		

### 1 補正理由

当初設計から、機器・部品の価格や労務費が高騰し、工事設計額に不足が生じたため不足分を補正する。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区 分	内 容	予算額
変電設備改修工事	令和6年度当初予算額	2,068
	工事設計額	2,332
	不足額	△264
		264

### 【当初予算との機器部品・労務費比較】

(単位:千円)

	R6当初予算設計額	R6設計額	比較増減
高圧気中開閉器	310	366	56
高圧ケーブル	252	397	145
高圧負荷開閉器	53	72	19
高圧進相コンデンサ	66	92	26
諸経費	223	241	18

### 3 事業箇所



事業名	耐震性貯水槽設置事業	予算額	現計	18,000 千円	担当課	危機管理課
			補正額	4,000 千円		
			補正後	22,000 千円		
			特財	17,914 千円		

### 1 補正理由

当初設計から、貯水槽本体価格や土工費が高騰し、工事設計額に不足が生じたため不足分を補正する。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容		予算額
耐震性貯水槽 設置工事	令和6年度当初予算額(2基)	18,000	4,000
	工事設計額	22,000	
	不足額	△4,000	
			4,000

### 【当初予算との機器部品・労務費比較】※1基分

(単位:千円)

	R6当初予算設計額	R6設計額	比較増減
耐久性貯水槽(40t)	5,100	5,580	480
土工	250	650	400
基礎工	180	400	220
諸経費	3,500	4,400	900

### 3 事業箇所

久野脇区(三津間)

青部区(下沢間)



事業名	感震ブレーカー等設置推進事業	予算額	現計	0 千円	担当課	危機管理課
			補正額	875 千円		
			補正後	875 千円		
			特財	291 千円		

### 1 補正理由

能登半島地震をきっかけに、感震ブレーカー設置推進補助金への支援が地震・津波減災交付金メニューとして新たに追加された。  
 当町においても新たな補助制度を早期に整備するため、所要額を補正する。

### 2 事業概要

補助対象者	町内にある住宅に感震ブレーカーを設置しようとする私人	
補助対象経費	感震ブレーカーの購入及び設置工事にかかる経費	
補助率	一般世帯	対象経費の2/3以内(千円未満切捨て、上限5万円)
	特例世帯	対象経費の10/10以内(千円未満切捨て、上限10万円)
	新築世帯	1万円。(ただし、特例世帯は、1万5千円)

- ※ 一般世帯：町内に住宅を所有し又は居住している者  
 特例世帯：要介護3以上の認定を受けた人、身体障害者手帳(1級～4級)、精神障害者保健福祉手帳(1級～3級)、療育手帳の交付を受けた人がいる世帯  
 新築世帯：町内で住宅(戸建)を新築する者

(単位:千円)

区分	内容	予算額
川根本町感震ブレーカー等設置推進補助金	①一般世帯分 50,000×5世帯=250,000	250
	②特例世帯分 100,000×5世帯=500,000	500
	③新築世帯分 10,000×5世帯=50,000	50
	④新築(特例世帯)分 15,000×5世帯=75,000	75
		875

### 3 感震ブレーカー イメージ



事業名	町道長松線2号箇所道路災害復旧 工事における電柱移設事業	予算額	現計	0 千円	担当課	建設課
			補正額	1,100 千円		
			補正後	1,100 千円		
			特財	0 千円		

### 1 補正理由

現場精査の結果、掘削範囲の中部電力（NTT共架）電柱が支障となることが判明したため、電柱移設の費用を補正する。

### 2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	予算額
補填費	電柱の移設	1,100

本体工事費：85,000千円（繰越明許）

### 3 スケジュール

項目	R5	R6												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
電柱移設														
※道路復旧工事														

### 4 現場の状況

